

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年9月11日(水)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭の自然物を使って① ～色～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・自然物や色に興味を広がってきていたので、自然物を使い自分自身で色をつけながら、イメージを膨らませ表現できればと思いテーマに設定する。

2. 活動スケジュール

- ・園庭で自然物を拾い、絵の具や食物を潰して作った染料で色を付け、自分のイメージを表現する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・箱
- ・ブルーベリー
- ・ボンド
- ・ほうれん草
- ・絵具
- ・筆
- ・ピーツ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭で自分のイメージに合った自然物を拾う。
- ・絵の具や食物を潰し染料にして、拾ってきた自然物に色を付けていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • 『園庭の自然物に色を付けてみよう』というお題で始まる。色を付けるものとしていつも使っている絵の具の他に、ビーツ・ブルーベリー・ほうれん草等も使える環境を設定した。 • まずは園庭でどんなものに色を付けようか素材探しが始まる。「これがいいかも」とすぐに見つかる姿や、「これもいいな。こっちもいいかも」と迷いながらも沢山集めている姿も見られた。 • 早速色を付け始めると、大胆につけはじめる子もいれば、一つ一つの葉っぱに丁寧に色を付けていく姿もあった。 • 素材潰しでは上手く潰れなくても「ぼくがぼーるを持つね」と、二人で協力して色を付けていた。 	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

自分達でイメージを広げながら色々な素材を使い、自由に表現することで「もっとこうしたい」「これにつけたらどうなるんだろう」と試行錯誤しながら行っていた。また、友達が作っている様子を見て“あの色いいな” “こんな塗り方があるのか”と子ども達同士でお互いにアイデアを共有することで、一人だけでは生まれなかった作品がそれぞれ出来上がっているように感じた。今回の活動を通して、自然物を使った作品作りへの創作意欲が高まっている様子だったので、今後も継続して行って行けたらと思う。